

特集 令和2年市成人式.....	2
庁舎整備基本構想(素案)住民説明会の結果...	6
第14回駅伝競走大会.....	8
市内2人に総務大臣表彰.....	10
県統計大会で1団体2人に表彰状.....	12
シリーズ在宅医療のあれこれ・消費者コラム...	17
まちのわだい.....	18
インフォメーション.....	20
鳥山高校の紹介ジオパーク構想だより.....	22

2020
February

鬼は一外！福は一内！
(2月3日 つくし幼稚園)



なすからすやま

No.173

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City



2令和
年和

①



③



②



⑤



④



⑦



⑥

成人式



1月13日の「成人の日」を前に12日(日)、城山の風月カントリー倶楽部を会場に令和最初の「那須烏山市成人式」が開かれました。

今月号では、式の様子のほか新たな門出を迎えた新成人へのインタビューなどを紹介します。

新成人243人が 大人への一歩踏み出す

今年、成人を迎えたのは、平成11年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた243人。このうち約8割に当たる191人が式典に出席しました。

当日の会場には、華やかな晴れ着やスーツ、紋付き袴を身にまとった新成人たちが、式典の30分以上前から続々と集まり、旧友との再会に話を弾ませました。

本市の成人式は、例年、新成人たちによる実行委員会が中心となり準備を進めるのが特徴です。今年のテーマは、「翔〜new stage〜」。「平成」から「令和」となった新たな時代の中で、新成人として広い世界にはばたき、さらに活躍できるようにという思いが込められています。このテーマをもとに、記念行事の考案や当日の進行など、6人の実行委員が企画・運営を行いました。また、当日は、ガールスカウト栃木県第14団や烏山高校ボランティアサークルの生

徒が運営に協力しました。

式典では、川俣純子市長が「これから成人として自身の言動に責任を持ち、自分には無理だと初めから決めつけるのではなく、どんなことにも積極的に挑戦してください。そして、新しい時代を担う一員としての自覚を持ち、未来を切り拓いてください」とあいさつ。続いて、沼田邦彦市議会議長、三森文徳県議会議員が祝辞を述べました。

そして、新成人を代表して実行委員長の子金子萌花さん(野上)が「多くの仲間たちと元気に再会し、成人としての第一歩を踏み出す瞬間を共にできることに大きな喜びを感じている。それぞれの夢や目標に向かって、新たな一歩を力強く踏み出したい」とあいさつしました。

式典後の記念行事では、小・中学校時代の恩師からのビデオメッセージが披露されたほか、サイコロトークが行われ、「あの頃の思い出や印



11



9



8



13



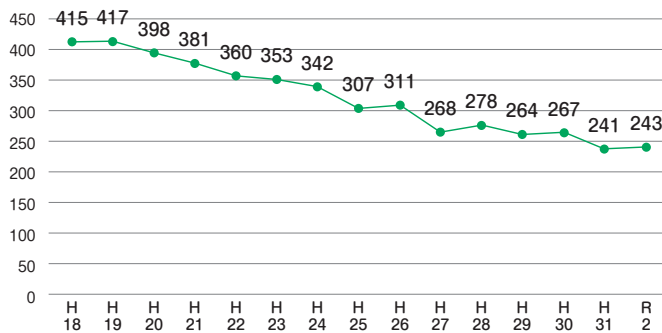
12



10

① 191人が集った成人式 ② 実行委員長の金子さんによる新成人代表あいさつ ③ 懐かしい話題で盛り上がりを見せたサイコロトーク ④ 華やかな着姿で受付に並ぶ新成人 ⑤ 事前の実行委員会で恩師からのメッセージの動画確認を行う ⑥ 新成人が市民の歌を斉唱 ⑦ 恩師からのメッセージで会場は和やかな雰囲気に ⑧⑨⑩⑪⑬ 旧友との再会に笑顔を見せる

(図 1) 成人式対象者推移



さて、今年の新成人が生まれた平成11年度は、20世紀も終わりを告げようとした時代。ミレニアムのカウ

合併後15年で新成人は6割に減少

象に残っていること」「もし戻れるならいつに戻りたいか」など懐かしいエピソードが紹介され会場は盛り上がりました。

最後には、地区ごとに記念撮影をし、約2時間に及んだ成人式は終了しました。式が終わった後も、会場や駐車場周辺には、懐かしい旧友との記念撮影や近況報告をする新成人たちの笑顔の輪が広がりました。

また、2000年になるとコンピュータシステムが大混乱すると言われた「2000年問題」が大きな騒動となるなど世紀の変わり目、しかも2千年期の最後の世紀として歴史的に注目を集めました。

本市はまだ合併前でしたが、旧南那須町では防災行政無線が開局し、保健福祉センターがオープンしました。また、旧烏山町では、烏山大橋が開通するなど大型の公共事業が行われました。

そして、新成人たちが6歳となる平成17年、那須烏山市が誕生しました。その当時の成人者数は415人で、今年の243人と比べると1.7倍とこの14年間で大幅に減少しました。これからの地域を担っていく若者たちが大きく減少している現状は市の将来にとって懸念材料となっています。これから、若者に魅力ある、住み良いまちづくりを進め、市民とともに活気ある地域社会とすることが求められています。



新成人に聞く！20歳の夢・決意

柴山絵里花さん(藤田)
下江川中出身

ついこの間まで中高生だったのにと、時間が経つのが早く驚いています。私は、高校の教員になることを目標に、大学で勉強を頑張っており、将来は理科の面白さを伝えられる先生になりたいです。先生になりたいという夢を持つきっかけをもらった中学校の先生にはとても感謝しています。

大学からは合唱を始め、先生や先輩に教わりながら日々頑張っているの、今後も技術を磨いていきたいです。

大森洸亮さん(南1丁目)
烏山中出身

成人式で久しぶりに会った友達は、みんな大人になっていて、時の流れを感じました。

私は、中学校の時に郷土芸能部と剣道部を掛け持ちで部長をし、その経験は、自分にとってとても強みになったと思います。大人になる架け橋を作ってくれた烏山中の先生方に感謝を伝えたいです。

また、^{はやし}今年の山あげ祭に若衆とお囃子の両方で参加しました。今後もお祭りに参加し、地域貢献していきたいです。

阿部尚さん(鴻野山)
荒川中出身

成人を迎え、これまで育ててくれた両親にとっても感謝しています。今までたくさん迷惑をかけてきたのでこれから少しずつでも恩返しをしていきたいです。

また、電気関係の仕事に就き2年目を迎え、もっと知識を蓄えられるよう努力していきたいと思います。多くの人と関わる仕事なので、立ち振る舞いなどがしっかりできる大人になりたいです。

石澤美羽さん(野上)
烏山中出身

成人式を迎え、大人になった実感は無いけれど、これから様々な責任が増えてくと思うのでしっかりした大人になりたいです。また、育ててくれた両親に感謝を伝え、親孝行でできればと思います。

私の夢は、看護師になることで、現在は看護学校に通っています。将来は、患者さんにとって、何でも相談でき、親しみやすい看護師になりたいです。



成人式実行委員のみなさん。

16223

■問合せ 生涯学習課 ☎0287-88

の成人式に向けて多くの応募をお待ちしています。

市では、毎年夏頃に成人式実行委員会のメンバーを募集します。来年度の成人式に向けて多くの応募をお待ちしています。

準備を進めてきました。

参加者の心に残る成人式にしたいと準備を進めてきました。

今年の実行委員会は、8月後半から9回、和やかな雰囲気の中で開かれました。委員6人と少数での活動でしたが、チームのように新成人がはばたき、さらに活躍できるよう、参加者の心に残る成人式にしたいと準備を進めてきました。

※()内は出身中学校、敬称略

玲奈(下江川中)

陽雪(荒川中)、笠井綾乃(荒川中)、小池

委員 塩田明日美(下江川中)、佐藤

副委員長 前原俊介(烏山中)

委員長 金子萌花(烏山中)

成人式実行委員会メンバー

庁舎整備基本構想(素案)住民説明会の結果

市内12か所で379人の市民が参加

広報なすからすやま7月号から継続して紹介したとおり、市では、「庁舎整備」、「防災情報伝達システム」、「立地適正化計画策定」の3つの重点事業に係る住民説明会を10月2日(水)から11月27日(水)にかけて、市内12の会場で開催しました。説明会には延べ379人の市民が参加。その結果、参加者から様々な質問やご意見、要望などが寄せられました。そこで今回は、庁舎整備基本構想(素案)についての主な意見と市の考え方を紹介します。

■主な意見や要望など

○新たな庁舎立地場所の考え方など(なぜ鳥山市街地中央公園なのか、地理的中心である神長地区の検討)

- ・ 地理的に消防署の近くが市の中心である。神長地区に新庁舎整備を検討していただきたい。
- ・ 茨城県にある原子力発電所から少しでも遠くに新庁舎を整備すべきではないか。
- ・ なぜ中央公園を選定したのか。評価結果に対する評価者の評価理由を教えてください。

【市の考え】市議会でも可決された平成19年9月、平成30年2月市の最上位計画である総合計画基本構想および地方自治

法に規定される市民の利便性を踏まえ、庁舎整備基本構想の素案では、鳥山市街地に本庁方式で新庁舎を建築することとし、南那須地区には窓口機能を残すこととしています。立地場所については、「まちづくりの方向性、利便性、安全性、実現性」の項目ごとに評価して、中央公園としたところですが、今後、住民説明会において意見などの多かった神長地区を追加して検討したうえで、その結果を「広報なすか



住民説明会の様子

らすやま」などで公表します。

○人口減少などを踏まえ、職員数や延床面積を検討(延床面積6000㎡は必要なのか検討)

・ 庁舎整備については将来の職員数などの削減も含めて、必要な延床面積を検討してほしい。延床面積6000㎡も必要なのではないか。

・ 合併時から職員数は、どのくらい削減できたか。今後も減らす考えはあるのか。

・ 今後、新たな行政課題に対応していくため、人口減少からといって安易に職員数を減らせるものではないと思う。

【市の考え】庁舎整備基本構想の素案では、平成30年4月1日現在の職員・臨時嘱託職員数(262人)および議員数(17人)を基本に国の基準を参考に延床面積6000㎡と試算しています。合併時、336人いた正職員は、現在、250人程度で推移しています。今後、行財政改革を進めながら職員数や延床面積の時点修正を行い試算します。

○庁舎整備に係る財源の確保状況

・ 庁舎整備に伴う財源の確保は大丈夫なのか。

・ 財源があれば庁舎整備は賛成である。

・ 大規模な事業が山積している。庁舎の建屋に30億円ということだが、庁舎整備の概算総事業費を試算して示すべきではないか。

【市の考え】財源は、合併特例債(2029年発行期限)、庁舎整備基金、地域振興基金、公共施設整備基金、一般財源などを活用します。中長期財政計画に基づき、計画的な基金の積立や予算の執行を図り、引き続き健全財政に努めます。また、総事業費などは、今後策定を予定している庁舎整備基本計画において公表します。

○市役所庁舎と利便性の高い公共施設の複合化

・ 庁舎整備にあたっては、図書館機能との複合化を検討してほしい。

・ 市役所を作る必要性をもっとPRすべきである。新たな機能である市民協働機能、防災機能、その他公共施設との複合化など必要な施設と考える。

・ 市民ホールのなどの複合化を図ってほしい。

【市の考え】行政庁舎だけではなく、市民の利便性の高い公共施設との複合化を検討し、市民が集い憩うまちづくりの拠点施設となるような庁舎整備を目指します。災害時には、市民の生命、身

体、財産を守るため、非常用電源設備などの災害対策本部機能の強化を図り、国や県との十分な情報連携などを図った災害対策や災害の復旧・復興の司令塔の役割を担う庁舎整備を目指します。

○中央公園の立地場所（急傾斜地の対応、アクセス道路の整備、現在の公共施設はどうなるのか）

・現在ある烏山公民館、烏山体育館などはどうなるのか。庁舎整備と併せて中央公園に整備されるのか。

・住宅密集地である中央公園に市役所を置くことは、突風などによる飛来物の危険、火災時の延焼、進入路が狭く災害対策本部機能として適当でない。
・東側の急傾斜地は大丈夫なのか心配である。

【市の考え】中央公園の東側の急傾斜地については、栃木県において法面保護の工事を既に行っているため、安全面では問題ないものと考えています。

また、庁舎整備にあたっては、都市計画法に基づく開発許可の対象となるため、幅員9m以上のアクセス道路が必要になります。

烏山公民館、烏山体育館などについては、取り壊しますが、非常に利用頻度の高い施設であり、新庁舎との複合化について検討します。

■今後のスケジュール（予定）

庁舎整備基本構想の成案化と庁舎整備の立地場所の決定のための事務手続

きの概要は次のとおりとなります。

○市職員で組織するプロジェクトチームにおいて、神長地区の検討

住民説明会において、多く寄せられた神長地区について庁舎整備の立地場所としての検討を行います。

○「広報なすからすやま」に進捗状況の掲載

昨年10月～11月にかけて開催した住民説明会において寄せられた意見などを踏まえ、神長地区の検討を含めた結果を5月号の「広報なすからすやま」に掲載予定です。

○庁舎整備基本構想（案）についてパブリックコメントを実施

神長地区を立地場所として検討した結果を踏まえて、庁舎整備基本構想の「素案」を「案」として主要な公共施設に提示し、広く意見などを募るパブリックコメントを1か月程度（令和2年8月頃）実施します。

○庁舎（事務所）の位置を変更する条例を市議会に上程

市議会に庁舎（事務所）の位置の変更を諮る条例（案）を上程し、議決（可否）を求める予定です。



◇ 昨年は台風19号により甚大な被害が発生したところであり、引き続き災害の復旧・復興に全力で取り組んでいきますが、耐震不足、非常用電源設備が無く老朽化が著しい市役所南那須庁舎・烏山庁舎などについて、災害対策

■住民説明会の開催日および参加者数（12会場で379名参加）

日 時	会 場	参加者数
10月2日（木）	南那須公民館	60名
3日（木）	ハケ代コミュニティセンター	25名
4日（金）	鴻野山公民館	24名
7日（月）	熊田西公民館	20名
8日（火）	藤田公民館	21名
9日（水）	江川小体育館内会議室	36名
10日（木）	烏山公民館	84名
28日（月）	明和ふれあいガーデン	14名
30日（水）	興野集会所	18名
31日（木）	七合公民館	14名
11月25日（月）	旧境保育園	36名
27日（水）	烏山南公民館	27名

※午後7時～概ね2時間

の強化、行政組織のスリム化、ワンストップサービスによる利便性の向上を図る観点から、早期に本庁方式への移行を図る必要があります。また、散在する老朽化した公共施設の統廃合、他の公共施設との複合化により、限りある予算の効率的かつ効果的な執行を図ることも必要です。

繰り返しになりますが、現状のまま

全ての公共施設を適正に維持管理することは健全な財政運営を行ううえで難しいため、有利な合併特例債（発行期限

2029年）の活用を見据え、新庁舎の位置をしっかりと決め、市民が真に必要な公共施設について、集約化・複合化を図った再編再配置を図ります。

市では、引き続き市民の皆さんに積極的に情報を提供し、意見交換などを行いながら、まちづくりの拠点となる新庁舎整備を進めていきたいと考えています。



沿道からはたくさんの声援が



6区から7区へタスキをつなぐ



小学生が鳥山運動公園を一齐にスタート

第14回那須鳥山市 駅伝競走大会



女性区間の9区

今年で14回目となる「那須鳥山市駅伝競走大会」が、1月19日(日)に開かれ、中央北Aが4年連続の優勝を果たしました。

今年は、13チームが出場。鳥山運動公園から保健福祉センターまでの10区間23.3キロをランナーが駆け抜けました。



神長トンネルを走り抜け南那須地区へ



4年連続でゴールテープを切った中央北A

当日は、各チームの選手が集まる中、開会式で大会実行委員会の木下悦男実行委員長が、「楽しく、思い出に残る駅伝競走にしてほしい。また、自分の力を出し切ることで沿道の人達に感動を与え、元気やパワーが出る。ケガや事故に気をつけ頑張ってください」とあいさつ。川俣純子市長は、「今日を楽しみにしてきた人、いい記録を出そうと頑張ってきた人がたくさん

冬晴れ的那須鳥山路駆け抜ける
10区間23.3キロでデッドヒート

当日は、各チームの選手が集まる中、開会式で大会実行委員会の木下悦男実行委員長が、「楽しく、思い出に残る駅伝競走にしてほしい。また、自分の力を出し切ることで沿道の人達に感動を与え、元気やパワーが出る。ケガや事故に気をつけ頑張ってください」とあいさつ。川俣純子市長は、「今日を楽しみにしてきた人、いい記録を出そうと頑張ってきた人がたくさん

大会結果

総合成績

①中央北A	1時間26分43秒
②鴻野山A	1時間28分42秒
③山あげA	1時間29分22秒
④体協境支部	1時間30分11秒
⑤ハケ代	1時間30分14秒
⑥藤田	1時間32分28秒
⑦志鳥	1時間33分07秒
⑧七合	1時間36分41秒
⑨那須烏山市役所	1時間39分16秒
⑩那須南病院駅伝部	1時間40分18秒
⑪中央北B	1時間45分03秒
⑫鴻野山B	1時間48分54秒
OP山あげB	1時間44分56秒

区間賞

1区	小西勇太(中央北A)	4分11秒
2区	菊地駿佑(鴻野山A)	6分56秒
3区	川野辺涼(体協境支部)	8分43秒
4区	河原蒼(体協境支部)	9分11秒
5区	滝口智弘(志鳥)	新9分16秒
6区	猪野卓也(中央北A)	8分46秒
7区	湯家谷怜央(鴻野山A)	7分54秒
8区	八幡瀬那(中央北A)	9分53秒
9区	猪野樹莉(中央北B)	5分42秒
10区	高木洋一(志鳥)	10分02秒

※敬称略、「新」は大会新記録、OPはオープン参加

A、藤田、体協境支部の順でタスキをつなぎました。2区では、4位でタスキを受け取った鴻野山Aが一気にトップに立つと5区まで維持。6区では、中央北Aが首位に躍り出て、体協境支部も続きま

3位に躍り出るとそのままゴールしました。
4年連続で優勝を果たした中央北Aの小池豊監督(福岡)は、「4連覇を目標に12月から週5日練習を続けてきた。みんな練習の成果を出し切り、とてもいい走りをして

いた。今後も練習を続け5連覇、6連覇を目指していきたい」と意気込みを語りました。

総合成績および区間賞は上記のとおりです。

県農業士に黒尾賢一さん 名誉農業士は檜山政義さん

1月9日(木)、県公館で開かれた「栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士認定式」において黒尾賢一さん(上川井)が農業士に、檜山政義さん(福岡)が名誉農業士に認定されました。

農業士とは、模範的な農業経営や農



黒尾さん

家生活を実践し、地域農業の振興と青年農業者などの育成指導を行うことのできる有能な農業経営者を県が認定するもの。名誉農業士は、農業士として多年にわたり積極的に活動し、地域農業をはじめ県の農業振興に尽力した功績を称えるため、同じく県が認定するものです。

黒尾さんは、平成18年3月に民間企業を退職し就農。その後、経営を引き継いでからは、草地盤造成、牛舎、堆肥舎の整備、搾乳ロボット、個別別飼養管理システムなどの先進技術を導入し、施設整備と規模拡大を進めてきました。また、地域農業の新しいリーダーとして酪農とちぎ青年部那須南支部長などを務め、地域の発展に貢献しています。

認定を受け、黒尾さんは、「農業士として自覚を持って模範となる経営をしていきたい。また、新規就農者などに技術などをアドバイスしていければと思う」と語りました。



檜山さん

黒尾さんは、昭和47年に就農し、主に酪農を経営。フリーストール牛舎や機械化などによる労働力の削減、安定した良質粗飼料生産に努め、高品質、高乳量を実現してきた経営は、地域の酪農家のお手本です。平成5年からは、農業簿記指導員として経営管理、適正な税務申告指導を行うなど、有能な農

業経営により平成17年に農業士に認定されました。また、南那須地区明日の農業を拓く会の会長をはじめ、多くの役職を歴任するなど、地域農業の振興と活性化に努めてきました。

檜山さんは、「これまで行政など多くの人と様々な分野で関わり活動してきたが、後継者もできてほっとしている。今後でもできる限り関わっていき

藤田自治会長の中山さん

自治会活動で総務大臣表彰を受賞

藤田自治会の中山衆男会長が、「自治会等地縁による団体功労者」として総務大臣から表彰

されました。

これは、自治会長として、通算15年以上在職し、地域社会の維持および形成に顕著な



功績があったと認められる人を対象に表彰されるもので、全国では4名が受賞しました。中山会長は、平成16年4月から現在まで15年間にわたり自治会長と

して活躍。また、昨年5月からは、市の自治会連合会長も務め、今回の受賞はそれらの功績が認められたものです。

昨年11月29日(金)に総務省において高市早苗総務大臣から表彰状を手渡された中山会長は、「地域の安心・安全を守るため地域と行政とのパイプ役を担ってきた。今後も、住みよい地域づくりができるよう努力していきたい」と話していました。

市選挙管理委員会

佐竹委員長が総務大臣表彰を受賞

那須烏山市選挙管理委員会の佐竹信哉委員長(神長)が、「令和元年7月21日執行参議院議員通常選挙総務大臣表彰」を受賞しました。これは、昨年7月の参院選において、事故がないなど選挙の管理執行が適正で、制度改正への取り組みが顕著であったことなどが認められたものです。

当選挙において本市は、投票

率48・33%と県内市の中で投票率が1位だったほか、期日前投票率も26・74%と、県内25市町中1位となりました。また、選挙権年齢の引き下げに対応して、烏山高校での臨時期日前投票所開設や高校生を期日前投票所の立会人を選任するなど、先進的な取り組みを展開してきました。

市選挙管理委員会の委員を務め、25年からは委員長として選挙の適正な執行に携わってききました。受賞を受け佐竹委員長は、「これは委員会全員でもらった賞。今後、地域の実情に合った取り組みを続け、投票所に足を運んでもらいい、投票率を上げられる



よう頑張っていきたい」と話していました。

南那須特別支援学校で出前講座 選挙への理解や関心深める



選挙啓発出前講座の様子

未来を担う子どもたちに選挙に対する理解や関心を高めてもらおうと、市選挙管理委員会では、「選挙啓発出前講座」を開催しています。12月23日(月)には、南那須特別支援学校で出前講座を開き、高等部2年生の生徒20人が投票の仕方などを学びました。

講座では、選挙に行く意義や自分の意思を示すことの大切さなどの説明に続き、投票用紙の書き方を〇×クイズ形式で出題。生徒たちは、有効・無効の書き方などを確認しました。

その後、記載台や投票箱などを使って模擬投票が行われ、投票所の雰囲気や投票方法を体験しました。

生徒からは、「投票用紙の折り方は決まっていますか?」などの質問が相次いだほか、選挙公報に目を通すなど、選挙への関心を高めていました。

同委員会の久郷啓二委員長職務代理は、「実際の選挙も今日の体験と同じようにできる。18歳になったらぜひ選挙に行ってほしい」と呼びかけました。

いちごいちえ 会とちぎ国体

夢を感動へ。感動を未来へ。

今回はアーチェリーの起源について紹介します。

アーチェリーの起源は紀元前2万年前までさかのぼります。この時代は、後期旧石器時代で、狩猟のための道具として「弓」が使われていました。その後、古代ローマ時代、中世ヨーロッパ時代になると、弓は人間同士の争いの道具として利用されるようになりました。

今のようにスポーツとして確立したのは、1538年、イギリスの国王ヘンリー8世がアーチェリーのコンテストを開催したのがきっかけでした。その後、ヨーロッパ各地でもアーチェリーがスポーツとして台頭し始め、1900年には初めてオリンピック種目として実施され、途中、オリンピック種目からは一時的に除外されるも、1972年のミュンヘンオリンピックからアーチェリーは正式種目となりました。

日本では、1939年に、当時新聞記者であった「菅 重義 氏」がアメリカからアーチェリーを持ち帰ってきたのが始まりとされ、今では日本中の人に親しまれているスポーツです。



団体では県内初！ コメ生産で JGAP認証



JGAPの団体認定を受けた古口部会長（中央）ら

JANAなす南水稲請負部会JGAP推進部では、12月10日の、日本GAP協会からJGAPの認証を受けました。コメ生産において団体として同協会から認証を受けるのは県内初のことです。

JGAPとは、同協会の認証制度で、農薬の適正使用や環境保全、作業者の安全管理など120あまりの審査項目があります。

JANAなす南では、平成30年3月に水稲請負部会の古口義弘部会長など9人が「JGAP推進部」を

立ち上げ、JGAPの団体認証取得に向け勉強会や先進地視察を重ねてきました。

同年11月には、組合員の小川雄三さんが県内初のコメ生産でのJGAP個人認証を取得しています。

同団体は、昨年10月に審査を受け、12月10日付で団体認証を取得しました。

「関係機関の指導のおかげで今回

初めて団体認証を受けることができました。取得後のこれからが大切なので、さらに改善を図り、持続性のある農業を目指したい」と中心となって活動してきた古口部会長。JANAなす南の荒井節組合長は、「これから安全・安心な米を消費者に届けていきたい」と話していました。

3年連続箱根駅伝出場 石川佳樹さんが山登りで力走

1月2日(木)、3日(金)に開かれた「第96回東京箱根間往復大学駅伝競走」に、拓殖大学商学部3年の石川佳樹さん(滝田出身)が出場し、往路名物の過酷な「山登りの5区」を力走しました。

今年で3回目の出場となる石川さん。今年は、目標としていた5区を1時間12分56秒、区間11位で走り抜きました。また、同大学は、11時間4分28秒で総合13位となりました。

1月8日(木)に川俣純子市長を表敬訪問した石川さんは、「今年は目標の5区を走ることができ、夢が叶った。走っている間とてもきつかったが、周りからの応援がすごく力になった。来年も5区を走

れるよう1年間しっかり練習し、万全な状態で区間賞を狙いたい」と話していました。



川俣純子市長を表敬訪問した石川さん

第57回栃木県統計大会

統計調査員表彰・統計グラフは全国入選

12月12日(木)、「第57回栃木県統計大会」が宇都宮市文化会館で開かれました。

この大会は、統計知識の普及啓発と県内の統計関係者の士気高揚を図ることを目的として県が毎年開催しているもので、永年にわたり統計事務に従事しその成績が特に優秀な統計関係者や統計グラフ栃木県コンクール入賞者の表彰などが行われています。

今回、本市から表彰された皆さんを紹介します。

統計調査員の表彰

長年にわたり統計事務に従事し、優秀な成績を取めたとして、統計調査員の齋藤恵子さん(滝)と藤本澄子さん(旭1丁目)が経済産業大臣表彰を受賞しました。

齋藤さんは平成10年の工業統計調査の調査員として、藤本さんは、平成4年の就業構造基本調査の調査員として活動したのを皮切りに、商業統計調査や経済センサスといった経済産業省所管の構造統計調査のほか、国勢調査や住宅・土地統計調査など様々な統計調査の調査員や指導員として、現

在まで20年以上にわたり、延べ40回を超える調査に従事されました。



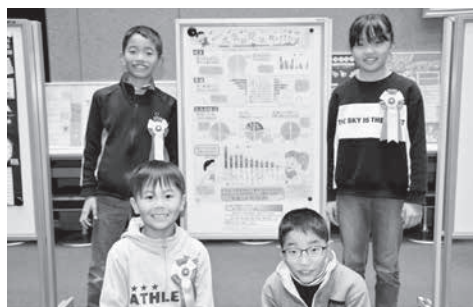
齋藤さん

統計グラフコンクール

烏山小学校4年の満田航輔さん(南1丁目)、満田紘輝さん(南1丁目)、菅谷珂奈絵さん(南1丁目)、渥美唯翔さん(旭1丁目)が制作した作品「あなたの元気回復法 教えてください」が、統計グラフコンクール小学校3年生～4年生の部で特選に選ばれ、全国コンクールにおいても入選を果たしました。同校の特選入選は4年連続となります。

同グループは、元気が出ないときや落ち込んだときの原因とその対処法などについて、同級生62名にアンケートを実施。男子と女子とでは元気が出ないときや落ち込んだときがある人の人数や回数、原因などに相違はあるものの、元

気回復法については、「友達に相談する」という児童が大半を占めていることから、「友達は相談相手で一番多く、気にもかけてくれる。友達とは元気回復法にとって関わりが多い。友達って大切!!」と結論づける調査結果をグラフで表現しました。



全国大会で入選した烏山小学校の4人

統計調査員を募集中!

統計調査員としてあらかじめ登録していただき、各種統計調査実施の際に統計調査員として従事していただきます。詳細は、総合政策課情報統計グループ ☎0287-83-1112までご連絡ください。

烏山高校と烏山小学校が合同でクリスマスコンサート

烏山高等学校では、12月21日(土)、同校体育館を会場に、烏山小学校と合同でクリスマスコンサートを開きました。

当日は、「地域交流による烏山



保護者や地域住民を前に演奏する烏山高校吹奏楽部の生徒

高校の活性化のために、小学生と何かできないかと考え、烏山小学校のブラスバンド部を招いて開催するに至った」と同校坂本校長先生のあいさつのあと、烏山小学校ブラスバンド部による「クリスマスソングメドレー」や烏山高校吹奏楽部による「ももいろクローバーZコレクション」などが演奏され、保護者や地域住民など多くの来場者が一足早いクリスマススの雰囲気を楽しみました。

また、烏山高校ダンス部が軽やかなリズムにのったダンスや一風変わったドラマ仕立てのダンスを披露し、会場は大いに沸き上がりました。

同校吹奏楽部長の2年南川重さん(上川井)は「少しハプニングはありましたが、楽しく演奏できた」と話していました。

八溝そば街道推進協議会 日光で寒ざらしそばを仕込み

八溝そば街道推進協議会では、今年も日光市の白滝で「寒ざらしそば」の仕込みを行います。

した。

寒ざらしそばは、秋に収穫されたそばの実を、冬の厳寒期に

ご当地グルメ「カレーコロッケ」

ご飯にかけるギョーザになって登場！

市のご当地グルメの「カレーコロッケ」が、新商品「ご飯にかけるギョーザ」 那須烏山カレーコロッケ風味」として市観光協会から販売されました。

市内にある惣菜屋では、コロッケといえば普通に「カレーコロッケ」が出てくるほどにカレーコロッケが浸透しており、市のご当地グルメとなっています。

市観光協会では、長年地元に愛されているこのようなご当地グルメを、お土産として手軽に持ち帰ることはできないかと検討を進め

てきました。その結果、栃木県の知名度アップを目的に開発・商品化され人気商品となっている「ご飯にかけるギョーザ」の那須烏山市版として「カレーコロッケ風味」を商品化し販売することとなりました。

2月9日(日)から販売を開始したこの商品は、現在、山あげ会館や龍門ふるさと民芸館、大金駅前観光交流施設(ナスカラ市場)で購入できます。

■問合せ 市観光協会 ☎0287-84-1977



山あげ会館や龍門ふるさと民芸館で販売されている「ご飯にかけるギョーザ 那須烏山カレーコロッケ風味」(650円税込)

JANAす南いちご部会が提供 小学校の給食で甘いいちご

JANAす南いちご部会では、地元特産品を利用した「食育応援事業」の一環として、毎年、市内の小・中学校の学校給食にいちごを提供しています。今年も1月20日(月)に、JANAす南の荒井節組合長と仁野平正義部会長が市役所烏山庁舎を訪れ、川俣純子市長にいちごを手渡しました。

提供されたいちごは、「とちおとめ」193パック。1月29日(水)

の給食に、「いちごヨーグルト」として登場し、子どもたちは、地元産のいちごに舌鼓を打っていました。

仁野平部会長は、「今年は、台風19号の影響もあり生育が遅れたが、おいしいものができた。子どもたちに地元産の甘いいちごを味わって食べてほしい」と話していました。

おめでとうございませう！

大桶の高野トクさん満100歳

1月16日(木)、大桶の高野トクさんが満100歳を迎えました。

22日(水)には、川俣純子市長が高野さんの入所する高根沢町の介護施設を訪問し、祝詞と花束などを手渡しました。

現在は、施設でリハビリをしたり、友達とおしゃべりや歌を歌ったりして楽しく過ごしている高野さん。施設に入所する前は、米や野菜を作るなど毎日農作業をしていたとか。また、そば打ちが上手で、高野さんが打ったそばは家族



高野さん

から大人気だったそうです。計算が得意で頭の回転がとて速く、また、今も歩く練習を続けているそう、それが長寿の秘訣のようです。

滝つぼに沈めたそばの引き上げ作業を行う関係者



冷たい水につけ、寒風にさらして乾燥させたそば粉を使って打つそばのことです。この仕込み作業を行うことで、余分なアクや渋みが抜け、より甘みや風味が引き出されます。

1月9日(木)、秋に収穫したそばの実約3・6トンが、関係者約20人によって冷たい滝つぼに沈められ、1週間後の1月16日(水)に引き上げられました。

この寒ざらしそばは、夏までゆっくり熟成させたあと、八溝そば街道推進協議会加盟店舗で提供されます。

映画「二宮金次郎」 市内外から250人



金次郎と烏山の関係を解説する報徳会の大金正会長

本市にゆかりがある二宮尊徳の生きざまを描いた映画「二宮金次郎」が、12月14日(土)、烏山公民館で2回にわたって上映され、市内外から250人あまりが、村々の復興に命をかけた感動作を楽しみました。

この映画は、本市も加盟する全国報徳研究市町村協議会など多くの協力によって制作されたもの。荒廃した600あまりの村々を独自の手法で復興させた二宮金次郎の激動の生涯が、五十嵐匠監督によって映像化されました。

上映に先立って、川俣純子市長は

「涙が止まらないほど見たえのあの映画です。今日、来られなかった人たちにも、この感動を伝えて欲しい」とあいさつ。その後、那須烏山報徳会の大金正会長が「烏山領民にとって二宮金次郎は大恩人。天保の飢饉の際、烏山仕法と呼ばれる援助と指導を受けて窮地を脱した」など、二宮金次郎と烏山藩について解説しました。

その後、いよいよ上映開始です。

この日を楽しみにしていた観客は、貧しさとは必死に戦う少年金次郎の姿を交えながら、青年期、そして、復興にかける二宮尊徳の生涯を描いたドラマチックな展開にかたずを飲んで見入っていました。約2時間にわたる上映を終えた会場には、拍手が沸き起こりました。

また、会場には那須烏山報徳会により募金箱が設置され、益金が台風19号被災者支援に活用されました。

新春祝う賀詞交歓会 鏡開きで明るいう年願う



関係者によって行われた鏡開き

市、商工会、JANAなす南による恒例の「賀詞交歓会」が、1月8日(水)、烏山城カントリークラブで開かれ、行政関係者や各種団体、企業の代表者など約160人が参加しました。

当日は、川俣純子市長が「今年は、災害に負けないまちづくりを進めていく。誰もが笑顔で安心して安全な暮らしができるよう市政を運営していきたい。さらなる飛躍の年になることを願う」とあいさつ。また、3月29日(日)に行われる聖火リレーについて、「市民に

元氣と笑顔を与え災害復興の象徴となるようなイベントにしたい」と話しました。

その後、沼田邦彦市議会議長や築和生衆議院議員、三森文徳県議会議員らのあいさつに続いて鏡開きなどが行われ、参加者は新年が明るい年となるよう願いました。

全国的な景気判断では、経済の減速傾向はあるものの緩やかな拡大基調とされていますが景気好調の実感が薄い地域経済の中で、参加者達は、それぞれの抱負や経済の発展について意見を交換しました。

災害時に建築物調査に協力 市と建築士会が協定を締結



協定を締結した川俣市長と齊藤弘江(県副会長、左)、堀江烏山支部長(右)

市と(一社)栃木県建築士会(青木格次会長)では、1月7日(火)、「災害時における対策業務の応

援協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、大規模な災害が発生した場合に市が行う建築物の調査などの災害対策業務を、同会に所属する会員が応援協力を行うというものです。

堀江節子烏山支部長は、「災害が起きた際には、迅速に連絡を取り合い、調査などを支援していく。市と連携して社会貢献につなげたい」と話していました。市ではこれまで31の団体と協定を結んでおり、災害時の対策強化が見込まれます。

市の魅力を考える

ナスカラミライカイギ

市では、シティプロモーション(※)の推進に向け、12月18日(水)、金井2丁目の地域おこし協力隊活動拠点「870(はなれ)」で本市の魅力について話し合う意見交換会「ナスカラミライカイギ」を開催し、市民10人が参加しました。(写真)

当日は、「ナスカラの魅力って何だろう?」や「魅力を知ってもらうには?」をテーマに、参加者が感じる市の魅力や、魅力発信の方法について話し合い

ました。参加者からは、自然が豊かで人が温かいといった魅力がある反面、公共交通や観光案内所の不足、PRの方法、サイトの有効活用ができていないことなどの意見が出されました。これらの貴重な意見は、今後のシティプロモーション推進に役立てられます。

今後も、ナスカラミライカイギは引き続きテーマを変えて定期的に開催していくこととしています。



※地域のイメージ向上やブランド確立を目指す、地域経済の発展などを目的とした地方自治体の宣伝・広報営業活動

シリーズ 市の文化財 第105回



市指定有形文化財(考古資料)
人物埴輪頭部
(埴平古墳出土) (神長)

昭和38年(1963)、神長地区の埴平古墳から出土した古墳時代後期(6世紀)の武人埴輪の頭部です。

多くの部分が欠損していますが、横矧板(よこはぎいた)留(びょうどめ)角付胃(かくつきかぶと) (古墳時代中期以降に用いられた胃(かぶと)の一種)を装着していたと思われます。

頭部右側には胴巻板と地板を留める(びょう)鉾(ほく)の表現が残り、頭頂部には衝角に似た剥離痕があります。顔の両側面にも剥離痕跡が認められることから、頬当も存在した可能性があります。

古墳時代後期の武装を知ることができる貴重な資料です。

シリーズ 公民館講座に行こう!

実施講座しポート⑨

今回は、「地酒講座」を紹介し

ます。

回の講座で改めて学んだことによつて、日本酒の美味しさや素晴らしさを再認識しました。

講師に、島崎酒造の島崎健一さんを講師に、島崎酒造の歴史、地酒醸造の工夫や努力について話を伺い、普段見学することのできない、仕込み現場を見学しました。



仕込み現場の見学



試飲・試食の様子

令和2年度の講座について

令和2年度は、合計25講座の開講を予定しており、早い講座は2月より募集を開始します。

詳細は、市ホームページや自治会回覧の「公民館講座のご案内」・広報お知らせ版に随時掲載します。

■問合せ 島山公民館 ☎0287-83-1412

税務課からのお知らせ

確定申告が始まります！

市では、令和元年分(平成31年分)の所得税確定申告および住民税申告を受付します。

■日時 2月17日(月)～3月16日(月)

※土・日曜日および祝日は除く

■受付 午前8時30分～11時

午後1時～4時

■場所 烏山庁舎2階 第4・5会議室(待合室は第2会議室)

※申告の受付は烏山庁舎のみで、南那須庁舎では行いません。

※午前の部について、混雑時などは早めに受付を締め切らせていただくことがあります。

※株式等に係る譲渡所得を申告する人は、時間がかかりますので、税務所で申告してください。

●主な税制改正・住宅ローン控除の拡充

消費税の引き上げに際し、下記のとおり住宅に関する税制上の支援策が講じられることとなりました。

・消費税率10%が適用される住宅取得等について、住宅ローン控除の適用期間を3年間延長(10年間→13年間)

・11年目以降の3年間については、消費税率2%引き上げ分の負

担に着目した控除額の上限を設定します。具体的には、各年において以下のいずれか少ない金額を税額控除します。

①建物購入価格の2%の3分の1

②住宅ローン年末残高の1%

※3年間で消費税増税分に当たる「建物購入価格の2%(3分1ずつ3年間)」の範囲で減税を行います。

ただし、ローン残高が少ない場合は、これまでどおり住宅ローン年末残高に応じて減税します。

●台風19号被災にあたり、雑損控除を受けようとする人

雑損控除の申告の際は以下の書類をお持ちください

①被害を受けた資産、取得時期、取得価額の分かるもの

②被害を受けた家屋の取得価額が分からない場合は、その面積が分かるもの

③被害を受けた資産の取り壊し費用、除去費用、修繕費用などの分かるもの

④被害を受けたことにより受ける保険金などの金額が分かるもの

⑤市から「り災証明書」の交付を受けている場合は、その証明書の写し

●申告書の作成は国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で！

確定申告期間中の確定申告会場は混雑し、長時間お待ちいただくこととなります。

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」の画面の案内に従って金額などを入力すれば、税額などが自動計算され、所得税および復興特別所得税の確定申告書が作成できます。作成した申告書をご自宅のプリンタで印刷すれば、確定申告会場に行かなくても、郵送などで提出できます。

※ご自宅にプリンタがない場合でも、PDFファイルで保存すればコンビニなどで出力可能です。

詳しくは、国税庁ホームページの確定申告特集ページをご確認ください。

URL: <https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/shinkoku/tokushu/index.htm>

■問合せ 税務課 ☎0287-831114

日程	午前の部	午後の部	日程	午前の部	午後の部
2/17(月)	旭	金井	3(火)	高瀬・大里・小埜	下川井
18(火)	藤田	南大和久	4(水)	下境・小原沢	
19(水)	向田・落合・滝	大木須・小木須	5(木)	田野倉・小倉・宇井	大金・東原・小河原
20(木)	志鳥(上)	志鳥(中・下)	6(金)	興野(中・下二)	興野(上・下一)・滝田
21(金)	初音・城東・表・愛宕台		9(月)	大桶	上境
25(火)	森田宿・輪之内・こぶし台	曲田・曲畑	10(火)	八ヶ代・福岡	鴻野山・小白井・西野・芦生沢
26(水)	宮原・大沢・横枕	南	11(水)	神長	中央
27(木)	熊田	月次・大金台	12(木)	三箇(上・中)	三箇(下)・上川井
28(金)	野上(下・野上台・舟戸)	野上(上・第四)	13(金)	予備日	
3/2(月)	中山・八ヶ平・白久・平野	谷浅見	16(月)	予備日	

在宅医療のあれこれ Part 22

「地域包括支援センター」をご利用ください

地域包括支援センターは、市が設置する「高齢者の総合相談窓口」です。介護・福祉・健康・医療など様々な相談や支援を行っています。

センターには「主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師」の3職種が配置されており、それぞれ専門分野を持っていますが、相談内容に応じて、互いに連携を図りながら「チーム」として総合的に支援しています。

地域包括支援センターの主な業務

・総合相談

本人や家族だけでなく、近所からの相談にも対応します。気軽にご相談ください。

例：健康への不安、認知症が心配、介護保険について知りたい、介護に疲れた、最近姿を見ないなど

・権利擁護

高齢者の財産や権利を守ります。

例：悪質商法の詐欺防止、財産管理や日常の様々な契約などを代理する「成年後見人制度」の紹介、高齢者虐待防止など

・介護予防マネジメント

軽度支援者（要支援1、2、事業対象者）が介護予防サービスを利用するにあたり、ケアプランを作成します。また、健康福祉課で行っている介護予防事業などを紹介します。

・地域のネットワークづくり

住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護事業者、医療機関、民生委員、社会福祉協議会、警察など様々な職種・機関と連携し、多方面からサポートします。



お住まいの地域包括支援センター

【烏山地区】地域包括支援センターからすやま

住所：那須烏山市南2-2-3コーポ矢板101

電話：0287-82-7272

【南那須地区】地域包括支援センターみなみなす

住所：那須烏山市田野倉85-1（保健福祉センター内）

電話：0287-83-8760

消費者ほっと♥らいふナビ

知っておこう！クーリング・オフ

「クーリング・オフ」は、一度契約してしまっても、法律で定められた一定の期間内であれば契約解除できる特別な制度です。どんなときにクーリング・オフができるのか再度確認し、いざというときに備えましょう！

クーリング・オフができる主な取引と期間

取引内容	期間
訪問販売、電話勧誘販売、訪問買取 特定継続的役務提供※	8日間
マルチ商法、内職・モニター商法	20日間

※特定継続的役務提供…エステ、語学教室、家庭教師、学習塾、パソコン教室、結婚相手紹介サービス、美容医療の継続的契約

クーリング・オフの仕方

- ①記入例を参考に、ハガキを書いて両面コピーします。
- ②書面を出した時点から有効になるので発送した日付の記録が残る「特定記録郵便」または「簡易書留」で送ります。
- ③ハガキのコピーと郵便局で受け取った受領証は、関係書類と一緒に5年間保管しておきましょう。

ハガキの記入例

〇〇市〇〇町〇〇番地 〇〇株式会社 御中	通知書 次の契約を解除します。 契約年月日 〇年〇月〇日 商品名 〇〇〇〇 契約金額 〇〇〇〇円 販売会社 株式会社×× 支払った代金〇〇〇〇円を返金し、商品を引き取ってください。 （自分の住所・氏名）
----------------------------	---

・支払った代金は全額返金してもらい、商品は販売業者へ引き取るように伝えます。費用は販売業者の負担です。

・クレジット契約をしている場合は、販売業者とクレジット会社へ同時に通知します。

※左の表以外でも「クーリング・オフ」同様の制度が設けられていて、契約を解除できる場合があります。

那須烏山市消費生活センター（烏山庁舎1階、商工観光課内）

【専用電話番号】0287-83-1014

【受付時間】平日9:00～12:00、13:00～16:30

※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン ☎188（局番なし）」へご相談ください。



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報広聴グループ ☎0287-83-1112

山あげ会館にモニュメント設置 那須与一を表現した「扇の的」

金井2丁目の渡邊眞さんから市に「扇の的」モニュメントが寄贈され、12月21日(土)、山あげ会館で、作品の制作者など約30人が見守る中、除幕式が行われました。

作品は、多摩美術大学名誉教授の竹田光幸さんが、那須与一のイメージを「両手」と「弓」で表現し、平成5年に市内のゴルフ場に設置したもので、高さ10メートル、総重量23トンのブロンズ製。ゴルフ場の撤退に伴い、貴重な作品を有効活用したいと、関

わりのあった渡邊さんから市に寄贈され、山あげ会館前に設置することにしたものです。

除幕式では、渡邊さんが、「毘沙門天像と共に新たな観光の目玉として、歴史と文化のまちづくりに役立ててほしい」とあいさつ。制作者の竹田さんは、「多くの人の英断によってこの作品が後世に残されることになり、大変ありがたい。那須烏山市と



山あげ会館前に設置されたモニュメント「扇の的」と寄贈した渡邊さん(左)

の縁をつなげたい」と話し、市内の小・中学校や図書館に同氏の著書が寄贈されることになりました。

山あげ会館にイルミネーション 初日は夜のあかり市でにぎわう

年末年始の街なかに賑わいと彩りを添えようと、市民有志でつくる「夜のあかりプロジェクト」では、12月21日(土)から1月18日(日)にかけて、山あげ会館周辺をイルミネーションで飾り付けました。

街のにぎわい創出と地域の活性化に一役買おうと各種団体が協力して企画・運営したもので、期間中は午後4時30分から9時までイルミネーションを点灯。クリスマスやお正月の雰囲気

盛り上げました。

初日の21日には、点灯に併せて「夜のあかり市」が催され、温かい飲食物や小物などの売店も特設され、家族連れらでにぎわいました。

プロジェクト代表の西川扇士浪さんは「山あげ会館を中心に交流できる場をつくりたいと考えていたが、仲間の協力でやっと実現した。夏場も何か企画して街なかの活性化に役立ちたい」と話していました。



多くの家族連れらでにぎわった初日の「夜のあかり市」

鳥にまつわる御朱印めぐり 地域の観光振興に一役

那須烏山市と那珂川町にある3つの神社が、地域活性化のために手をつなぎ「三鳥御朱印めぐり」として特別御朱印を今年の元旦から頒布しています。

この新たな取り組みを始めたのは本市の熊野神社(向田)と愛宕神社(志鳥)、そして那珂川町の鷺子山上神社(矢又)の3社。熊野神社境内には八咫鳥神社があり、愛宕神社のお使いは金鶏(トシビ)とされています。また、鷺子山上

神社は「フクロウ神社」の愛称で親しまれるなど、各神社とも「鳥」と縁が深いことから、通常の御朱印以外に「三鳥」の図柄の入った特別御朱印を配ることにしたものです。

始まりは昨年春、御朱印集めが流行して参拝客が増える中、各神社をめぐる人の流れを地域振興に役立てればと3社の神職の意見が一致。くしくも昨年は、新天皇のご即位や八咫鳥神社建立、愛宕神社遷座100年など節目の年で

知的障害者通所授産施設「みつわ工房」では、1月4日(土)、初詣を兼ねて「JR烏山線沿線七福神巡り」を行いました。

これは、地域の魅力を再発見しようと施設利用者50名あまりが電車と徒歩で沿線を散策したもの。利用者は、駅や地域に関連する七福神の由来を学んだり、散策したりしました。また、初めてアキムに乘車する利用者も多く、普段あまり見ない電車からの風景を楽しみました。

障がい者施設「みつわ工房」アキムで七福神を巡る初詣

知的障害者通所授産施設「みつわ工房」では、1月4日(土)、初詣を兼ねて「JR烏山線沿線七福神巡り」を行いました。



アキムに乗り沿線を巡る利用者

烏山小学校で初釜の茶会

児童12人がお茶をたのしむ

1月17日(金)、烏山小学校のクラブ活動で「初釜」の茶会が開かれました。この茶会は、野上玲子さん(南2丁目)、滝口節子さん(志鳥)、池尻藤代さん(中央2丁目)が、ボランティアで講師となり、年13回開かれており、12年目を迎えました。

初釜とは、年が明けて最初に行われる茶会のことで、当日は同校の4年生～5年生12人がお



初釜の茶会でたてられたお茶を楽しむ児童

点前を見学し、お茶やお菓子を楽しみました。

「子どもたちに日本の伝統文化に触れてもらいたい」と思い活動を続けてきた」と3人。同校5年の長谷川夏美さん(旭1丁目)は、「講師の先生が立ててくれたお茶はとても美味しかった。これからも作法を教わりながら、楽しいクラブ活動が続けていき

たい」と笑顔を見せていました。

猿久保田んぼ公園収穫祭

ふるさとの味に舌つづみ

荒川南部地域保存会では、12月21日(土)、大里自治会公民館で「猿久保田んぼ公園収穫祭」を開き、地域住民など50人あまりが収穫の喜びを分かち合いました。

この収穫祭は、高瀬、大里、森田宿、小埜の地域住民で組織する同保存会が、ホタルの観察会や生き物調査など年間をととした活動の最後を締めくくる師走の恒例行事。猿久保田んぼ公園にある約50坪の水田で収穫したモチ米45キロをふかし、昔なが

らの方法で餅をつき、郷土料理で歓談するのが目玉です。

当日は、子供からお年寄りまでが和気あいあいと杵を振って餅をつき、地場野菜を使った雑煮やお汁粉、甘酒などふるさとの味に舌鼓を打ちました。

「豊かな自然の中で収穫したモチ米ですから、令和の献上米にも負けない味。ゆっくり歓談して近所付き合いを深めたい」と保存会の久郷道泰会長。参加した荒川小6年の大野将輝さん(大里)は、「初めて餅をついたが、



餅つきを体験する子どもたち

キネが重くて大変だった。でも、つきたてのお餅は最高。ふかしたばかりのモチ米もおいしかった」と笑顔で話していました。

3社の御朱印を手に、右から熊野神社の樋山洋平神職、鷺子山上神社の長倉樹神職、愛宕神社の滝口貴史神職



もあつたため、令和最初の正月からの御朱印めぐりが実現の運びとなりました。

鷺子山上神社の長倉樹神職は、「本神社の最寄り駅は烏山駅だし、ご幣束に烏山和紙を使ってきた歴史があるなど那須烏山市とは縁が深い。各神社の参拝客が観光スポットに立ち寄る周遊コースになれば」と期待を込めて話していました。

おめでた★

赤ちゃん名 (保護者) 住所
 高田 旺雅 (秀一・味希) 大桶
 平川 漆我 (悟・菜摘) 藤田
 荒井 健 (仁・妙) 鴻野山
 小室 慧 (和由・静) 野上
 伊藤 慧 (慎吾・信香) 興野
 網野 里 (悠介・純子) 下川井
 田代 湊 (治良・美穂) 小倉
 長井 瑛太 (治樹・彩央里) 小倉
 大野 陽梨 (修平・舞) 志子
 山本 奏心 (悠人・佐知子) 弁士
 滝 采華 (友弥・由佳) 下川井

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果★

●第4回栃木県神社庁南那須支部長剣道錬成大会(12月8日(日) 那須烏山市武道館)

【団体の部】
 「小学5年生以上の部」▽準優勝：宏倫剣道スポーツ少年団

【個人の部】
 「小学3、4年生の部」▽第3位：土居明夫(宏倫剣道)、笠井雄斗(烏山剣道)「小学5、6年生の部」▽準優勝：小森咲芽(烏山剣道)▽第3位：渡邊鍊(宏倫剣道)、小西勇太(宏倫剣道)「中学生男子の部」▽優勝：沖村愛希(南那須中)▽準優勝：二見倫靖(南那須中)「中学生女子の部」▽第3位：菊池優奈(南那須中)「高校・一般男子の部」▽準優勝：人見匠真(宏倫剣道)

倫剣道)「高校・一般女子の部」▽準優勝：山中麻衣(南那須中教諭)

●第16回JKFan杯武蔵国空手道親睦大会

12月15日(日)、アスカル幸手(埼玉県)「小学生低学年団体組手」▽第3位：白聖会空手道スポーツ少年団(平山西(境小)、大輪映奈(境小)、大輪映奈(境小)、齋藤陽(烏山小)、荒井斗真(烏山小)、村山蒼空(江川小))「小学6年生女子組手」▽第3位：荒井亜美(烏山小)、大輪莉央奈(境小)

●第32回全国健康福祉祭和歌山大会(11月9日(土)～12日(火)、和歌山県)

「マラソン10km70歳以上男子」▽第7位：平山勝男

烏高生と議会議員が意見交換

市議会では、市民に信頼される開かれた議会づくりを推進しようと、1月25日(木)、「烏山高等学校との意見交換会」を市役所南那須庁舎で開きました。

昨年制定された市議会基本条例の活動原則に基づき初めて開かれたもので、当日は、1年生～3年生の19人が参加。烏山学で学んだ「那須烏山のまちづくり」、「ジオパーク構想Ⅲ」などの成果発表、3グループに分かれて「いちご王国とちぎの戦略」、「みんなにやさしいまちづくり」などのポスターを発表し、意見が交わされました。生徒たちからは、「議員活動は何をしているのか」、「災害対応で心がけていること」などの質問や鋭い意見・提言が出されました。

同校3年の仲沢伊織さん(野上)は、「違った視点からの考えを聞くことができ勉強になった。ぜひ、来年も後輩たちのために開いてほしい」と話していました。



活発に意見が交わされた意見交換会

おわびと訂正

1月号10ページ「聖火リレーをみんなで応援しよう」の記事で、「2日目：那須町↓さくら市↓那須塩原市↓さくら市↓益子町↓壬生町↓日光市↓鹿沼市↓宇都宮市↓那須烏山市」とあるのは正しくは「2日目：那須町↓さくら市↓那須塩原市↓益子町↓壬生町↓日光市↓鹿沼市↓宇都宮市↓那須塩原市↓益子町↓壬生町↓日光市↓鹿沼市↓宇都宮市、14ページ「eスポーツでプロの活動」の記事で、「平山大輝さん」とあるのは正しくは「平山大輝さん」です。おわびし訂正いたします。

編集後記



○まだまだ朝晩の冷え込みは辛いものの2月とは思えないくらい暖かい日があるなど、今年は暖冬になりましたね。外で遊ぶのが大好きな私も大へも毎日日向ぼっこを楽しんでいます。

○2月と言えば節分ですね。今月号の表紙は、つくし幼稚園の「豆まき」で撮影させてもらいました！元氣いっぱい豆まきをする子どもたちにも元氣をもらいました😊

○節分は、季節の始まりの日の前日のことで、「季節を分ける」ことも意味しているそう。節分は、年に4回ありますが、江戸時代以降は特に立春(2月4日頃)を指すことが多いそうです。

○節分といえば、楽しみにしているのが恵方巻。今年の恵方は「西南西」。しかし今年は、節分が健康診断の前日。食べたい気持ちはグツと抑えるのが大変でした。(健康診断後にお腹いっぱい食べたのは秘密です。ダイエツトが…(笑))



Information

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

2020.1.1現在
()対前月比

人口 25,056(-26)

男 12,459 女 12,597
出生 13 死亡 46
転入 48 転出 41

世帯数 9,331

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

★一般図書★

『72歳、妻を亡くして三年目』

西田 輝夫

『朝1分!「顔の骨トレ」で10歳若くなる!』

山本 江示子

『人気のおかずおいしい! 860品』

学研プラス

『犬のための家庭の医学』

野澤 延行

『バンクシー』

毛利 嘉孝

『マンガではじめる英語を忘れた人の1~2語英会話』

石原 真弓

『ジャパントウン』

バリー・ランセット

『春とび娘』

原 宏一

『奈落』

古市 憲寿

★児童図書★

『「走る図書館」が生まれた日』

シャーリー・グレン

『消防署図鑑』

梅澤 真一

『ブラックホールってすごいやつ』

本間 希樹

『たまごの図鑑』

大木 邦彦

『白魔女リンと3悪魔』

成田 良美

『いらっしやい』

せな けいこ

『イカリメーター』

とうやま そうた

『チョコレート・ウォーズ』

エリス・ドラム

★DVD★

『となりの怪物くん』

月川 翔監督

『翔んで埼玉』

武内 英樹監督

『必殺仕事人2019』

石原 興監督

『グリーンブック』

ピーター・ファレリー監督

『僕のヒーローアカデミア THE MOVIE』

長崎 健司監督

『かみさまみならいヒミツのここたま』

新田 典生監督

文芸コーナー

俳句

満満と初日の出あり幸祈る

同胞の賑はひ弾む淑気かな

解けゆくや芥しづめて除夜の鐘

初雪や小犬の如く燥ぐ子等

水野 信一 選

小針 久子(月次)

三森 純子(中央)

古内 晴代(金井)

川俣登志子(旭)

篠崎 酔月 選

川柳

隠し芸拍手喝采酒の席

過熱する夢追い人の宝くじ

雑草の種子作業衣にこびりつき

亡き夫覚悟したけど辛い日日

石川 義郎(興野)

小堀 翠泉(中央)

吉澤 恒子(落合)

須田 孝子(城東)

短歌

滝口 節子 選

矢の如く歳月過ぎて九十五年今朝も眩しい 嗚呼生きて

縁側に初日さんさん身に浴びて心も体も温もる元日

それぞれの道を歩みて五十年面影残る古希祝う会

ピンク、白父の求めしペチュニアよ今だ枯れずに冬を咲き継ぐ

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

「ふ」ありがとうとつづきます

■ふるさと応援寄附金

須藤秀三様(埼玉県富士見市)から3千円、尾川育子様(鳥取県鳥取市)、大谷俊介様(埼玉県朝霞市)、塚田大祐様(東京都品川区)、林友範様(石川県野々市市)から5千円、下澤靖子様(東京都大田区)、谷口淳様(東京都狛江市)から1万円、鈴木武夫様(宇都宮市)から1万7千円、高浜浩二様(宇都宮市)、榎本裕様(東京都大田区)、村田清次様(埼玉県上尾市)から2万円、福田国彦様(東京都世田谷区)から3万円、堀切信一様(東京都町田市)から3万5千円、田中栄一様(東京都足立区)、高野和彦様(北海道札幌市)から10万円、匿名希望者様141人から計450万1165円が本市に寄附されました。

■著書の寄贈

竹田光幸様(東京都八王子市)から「竹田光幸の創作」20冊、「木彫刻制作」20冊が各小・中学校および市立図書館へ寄贈されました。



シリーズ 烏山高校ってこんなところ! ～「烏山学」編～

ポスターセッション

12月19日(木)、2年生がこれまでの「烏山学+（プラス）」での活動内容を発表するポスターセッションを烏山高校の旧体育館で行いました。1・3年生の「烏山学」は市の課題を取り上げ、市内でのフィールドワークをととして地元への理解を深めることをねらいとしています。一方、「烏山学+」は、地域課題解決のために県外での先進的实践事例を学び、さらに市が抱える現状との比較によって市が抱える課題を考えるヒントにしたり、那須烏山市への理解をさらに深めたりすることなどを目的とした取り組みです。

この日のポスターセッションでは「烏山学+」の10項目のプログラム全ての班が発表を行いました。生徒たちは自分たちの発表を行う一方で、ほかのプログラムの人たちがどのような活動をしたのか学習しました。ポスターセッションには「烏山学+」の講師を務めた市役所職員のほか、視察に訪れた県外の高校の先生や市社会福祉協議会職員なども参加しました。慣れない人前での発表ではありませんが、生徒たちは自分たちの活動を伝えようと、とても一生懸命でした。



来年度入学生から、夏服のデザインが変わります。2月上旬にホームページに掲載予定ですので、ぜひ、ご覧ください。



地形図にも載っていない
隠れた滝スポット：滝田の大滝

林の中にひっそりと存在する「滝田の大滝」は、2万5千分の1の地形図にも載っておらず、市内在住者でも存在を知らない人が多いのではないだろうか。滝田ポケットパークから徒歩5分程度の周りからは見えにくい場所にあるため、隠れた景勝地となっています。

滝田の大滝は高さ8mほどあり、浸食に対して抵抗性のある火砕岩が造瀑層（滝を成すような硬い地層）となり、下流域の砂岩・頁岩層が速やかに削られたことにより形成された滝です。

冬は特に、空気が澄んでいるので自然の美しさを存分に感じることが出来ます。また、滝が凍っている場合もあるので普段見ることでできない景色を見ることが出来ます。

那須烏山ジオパーク構想だより 34

～見どころ紹介～